

事業所名

マハナの森 常滑

支援プログラム

作成日

令和7年

9月

1日

法人（事業所）理念		「出来たの笑顔」が未来を変える				
支援方針		集団での楽しい運動療育を中心に個々の状況に合わせた総合的な支援を提供していきます。				
営業時間		平日 土・祝日	10時00分から 19時00分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり	なし
		支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 家庭環境、生活環境の変化や、園行事等で起こる心身の変化等を保護者と共有し、状況に合わせた支援の内容を検討していきます。 子どもの発達状況に合わせたトイレトレーニングの実施や着替え動作の取得等による日常生活動作の向上を目指します。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 思い切り体を動かすことのできる広いスペースや大型トランポリンの常設など整った環境の下、コーチル体操クラブのカリキュラム（マット、鉄棒、跳び箱）を療育に取り入れ楽しみ、自信をつなながら「脳」と「こころ」の発達に繋げていきます。 知識や経験を持った専門職による運動能力評価を行いつつ、子どものニーズ(バランス感覚、力の強弱、距離感、ボディイメージ、様々な触覚等)に合った活動を日々提供していきます。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 運動あそびや自由遊びを通して物の名前や使い方、色、大きさ、重さ、数などの理解が深まるように関わっていきます。 ルールがある活動にイメージをもって参加できるようにしていきます。その際、「楽しかった」「やって良かった」「またやりたい」「出来た！」と感じることができるように関わり方や内容を工夫していきます。 地域生活に必要な集団の中での好ましい行動を段階を追いながら身につけていけるよう、環境を整えることや関わりを持ちます。 集団生活の中で活動の切り替えや気持ちの折り合いをつけることへの成功体験を積んでいけるよう、環境を整えることや職員が関わりを持つことで支援していきます。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 発達年齢に合わせた言葉の受容と表出方法(表情、行動、ジェスチャー、言葉等)を用いて、地域生活でのコミュニケーションスキルの向上へと繋がるように支援していきます。 子ども同士が直接思いを伝え合えるよう、職員が見守り段階的に好ましいやり取りの幅を広げていきます。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して人と関わることの楽しさを知り、信頼関係を築くことで周囲の人とも安定した関係を形成していくようにしていきます。 同世代のお友だちと関わる楽しさ、遊び方などのルールを知り、思いを伝え話し合う力の向上を目指した環境を整えていきます。 				
家族支援		子どもの発達についての共通理解を深め、地域生活での安心を増やしていくよう、情報共有をしたり、子育てに不安や心配ごとがあれば都度、特性を考慮した対応策と共に考えます。		移行支援	就学を見据えた子どもの評価を保護者と行い、就学に安心と見通しを立てることや、必要に応じて就学先との情報共有や会議を行っています。	
地域支援・地域連携		地域生活での困りごとを関係機関と連携し解決することや、就学に向けた安心を増やしていくよう必要に応じ関係機関と連携しサポートしていきます。		職員の質の向上	定期的な社内研修、社外研修。 日ごとの療育を振り返り、安全な環境の確認やより良い支援の共有を行っています。	
主な行事等		季節行事の実施（夏祭り、ハロウィン行事、クリスマス行事など） 災害時への対応（避難訓練） 茶話会				